

## レベルⅡ

到達目標 : 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
1	感染症委員会の研修目標参照	感染管理	講義	感染症委員会	所属長による評価 (目標面接で確認)	部門研修(2回/年)必修 感染症委員会お知らせ参照		
2	なめがた地域医療センター職員としての職業倫理を高める	コンプライアンス	講義	庶務課		全職員対象研修(2回/年) (庶務課お知らせ参照)		
3	医療安全管理体制を理解することができる	安全管理	講義	医療安全委員会	所属長による評価	全職員対象研修(2回/年) (医療安全委員会お知らせ参照)		
4	事例分析の方法を理解することができる	医療安全の基本	講義 演習	医療安全委員会	所属長による評価	9月30日	①	①
5	事例を通し医療現場の作業手順や起こりうるリスクについての知識、起こりうる変化に対する洞察力や想像力を養うことができる	KYT	講義 演習	師長・主任・主幹会	所属長による評価 (目標面接で確認)	8月10日	①	①
6	安全な薬剤療法を知ることで、実践に生かすことができる	薬剤の基礎知識 -安全管理が必要な医薬品-	講義	ナーシングスキル	所属長による評価	10月中旬 に聴講シテストを実施 (満点がとれるまで)	①	①
7	急変に対応するために必要な知識と考えた方を、生体的なメカニズムやアセスメントの視点、BLS/ALSの手技など基本を学ぶ	急変対応	講義	ナーシングスキル	所属長による評価	11月中旬 に聴講シテストを実施 (満点がとれるまで)	①	①
8	臨床において倫理問題が生じていることに気づく	臨床倫理	講義	師長・主任・主幹会	所属長による評価	11月16日	①	①
9	「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」について理解できる	看とり	講義	土浦協同病院 WEB	所属長による評価 (目標面接で確認)	WEB:後日調整	②	①
到達目標 : 組織の一員としての役割が理解でき部署の目標達成に向けて基準や手順を遵守した行動がとれる								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
10	メンバーシップとは何かを理解すること	メンバーシップ	講義 演習	教育安全委員会	所属長による評価 (目標面接で確認)	7月15日	①	①
11	体と心のバランスやストレスをコントロールでき、円滑な人間関係を構築できる	エニアグラム	講義	教育安全委員会		7月15日	①	①
12	「入院から退院支援まで」の一連の看護を標準的な看護計画に基づき展開できた事例を1事例から、看護実践能力の自己評価ができる	看護実践能力の自己評価		「看護実践能力の自己評価」 専用紙にまとめる (手引き参照)	「看護実践能力の自己評価」 (所属長の評価を得て提出)	2023年2月 教育委員会へ (後日お知らせ配布)		
到達目標 : 自己の課題を明確化し達成に向けた学習活動を展開することができる								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
13	看護研究への動機づけのきっかけを見つけることができる	看護研究とは 看護研究への動機づけ	講義 看護協会		所属長による評価		③	②
14	興味を持って学会に参加し、部署に伝達できる	自己研鑽 (院外の学会・研究会は積極的に参加する)						

## レベルⅢ

到達目標 : ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
1	感染症委員会の研修目標参照	感染管理	講義 WEB	感染症委員会	所属長による評価 (目標面接で確認)	部門研修(2回/年)必修 感染症委員会お知らせ参照		
2	医療安全管理体制を理解することができる	安全管理	講義 WEB	医療安全	所属長による評価 (目標面接で確認)	全職員対象研修(2回/年) (医療安全委員会お知らせ参照)		
3	インシデント分析方法を学び、分析法を用いて分析する必要性を理解する	インシデント分析法	講義	看護副部長		9月30日	①	①
OJ		自部署でのインシデントの振り返り				所属部署で通年		
4	薬剤についての理解を深める	安全な医薬品取り扱 いの重要性	講義	ナーシングスキル	所属長による評価 (目標面接で確 認)	10月中旬 に聴講シテストを実施 (満点がとれるまで)	①	①
5	地域包括ケアシステムの特徴を理解することができる	地域包括ケア時代の 看護連携	講義	ナーシングスキル	所属長による評価 (目標面接で確 認)	11月中旬 に聴講シテストを実施 (満点がとれるまで)	①	①
6	呼吸、循環、意識の状態から急変を予測して説明することができる	急変対応	講義	ナーシングスキル	所属長による評価 (目標面接で確 認)	11月上旬 に聴講シテストを実施 (満点がとれるまで)	①	①
7	倫理的ジレンマから、倫理的問題や課題を明確にして説明することができる	倫理原則	講義	師長・主任・主幹会	所属長による評価 (目標面接で確認)	11月16日	①	①
8	看とりのプロセスを振り返り、人生の最終段階における苦痛の緩和を理解、実践に繋げることができる	看取りにおける尊厳 の尊重と苦痛の緩和	講義	土浦協同病院公開 講座	所属長による評価 (目標面接で確認)	WEB : 後日調整	①	①
9	アサーティブコミュニケーションの概要を理解することができる	コミュニケーション 方法	講義	師長・主任・主幹会	所属長による評価 (目標面接で確認)	9月8日	①	①
10	「患者の全体像を捉えアセスメントし、個性を踏まえた看護展開」をした1事例から、看護実践能力の自己評価ができる	看護実践能力の自己 評価		「看護実践能力の自己評 価」	「看護実践能力の 自己評価」 (所属長の評価を 得て提出)	提出期限： 2023年2月		
到達目標 : 所属する職場で組織的役割が遂行できる。看護チームではチームリーダーやコーディネーターの役割、								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
11	PDCAサイクルを基に目標管理を理解できる	PDCAサイクルにつ いて	講義	ナーシングスキル	所属長による評価 (目標面接で確認)	後日調整 聴講シテストを実施 (満点がとれるまで)	①	①
12	なめがた地域医療センター職員としての職業倫理を高める	コンプライアンス	講義	庶務課	所属長による評価 (目標面接で確認)	全職員対象研修(2回/年) (庶務課お知らせ参照)		
到達目標 : 自己の学習活動に積極的に取り組むとともに新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
13	現状を理解し、指導方法を振り返る機会を持つことで、今後の指導のあり方を再認識することができる	現代の看護学生の 特徴、カリキュラム の内容	講義	附属看護学校 公開講座	所属長による評価 (目標面接で確 認)	7月27日		
14	興味を持って学会に参加し、部署に伝達できる	自己研鑽 (当年度、ラダー認定申請者は、院外の学会・研究会に参加する)						

## レベルⅣ

到達目標 : 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
1	感染症委員会の研修目標参照	感染管理	講義	感染症委員会	所属長による評価 (目標面接で確認)	部門研修(2回/年)必修 感染症委員会お知らせ参照		
2	①チーム医療について理解する ②チーム医療の効果を理解する ③チーム医療に必要な志向、協働について理解する ④チームの成長階段、高業績に関わる要因を理解する ⑤リーダーシップを発揮したチーム医療の実践方法について理解する	チームの活性化とリーダーシップ	講義	土浦協同病院 公開講座	所属長による評価 (目標面接で確認)	7月8日	①	①
3	カンファレンス、グループワークの目的目標を加味した事前準備ができる 参加者の意見を引き出すための傾聴・介入・観察・質問ができる 中立的な立場として、会を進行することができる 参加者の意見を集約し、合意形成を促すことができる	ファシリテーター	講義	ナーシングスキル	所属長による評価 (目標面接で確認)	12月上旬 に聴講シテストを実施 (満点がとれるまで)	①	①
4	「他職種との関わりから」一連の看護を個別的な看護計画に基づき展開できた事例を1事例から、看護実践能力の自己評価ができる	看護実践能力の自己評価	「看護実践能力の自己評価」 専用用紙にまとめる		「看護実践能力の自己評価」 (所属長の評価を得て提出)	2021年2月24日(金) 教育委員会へ (後日お知らせ配布)		
到達目標 : 所属する職場で特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
5	所属部署でリーダーシップを発揮した後輩教育・指導ができる	リーダーシップとリーダーとしての役割	講義	土浦協同病院 公開講座	課題レポート	7月8日	①	①
6	インシデント分析法を理解することができる	インシデント分析	講義	看護副部長	所属長による評価	9月30日	①	①
7	医療安全管理体制を理解することができる	安全管理	講義	医療安全	所属長による評価	全職員対象研修(2回/年) (医療安全委員会お知らせ参照)		
8	なめがた地域医療センター職員としての職業倫理を高める	コンプライアンス	講義	庶務課		全職員対象研修(2回/年) (庶務課お知らせ参照)		
到達目標 : 自己の教育活動に積極的に取り組むと共に教育活動について指導的な役割を実践できる								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
9	現状を理解し、指導方法を振り返る機会を持つことで、今後の指導のあり方を再認識することができる	現代の看護学生の特徴、カリキュラムの内容	講義 web	附属看護学校 公開講座	所属長による評価	7月27日	①	①
10	興味を持って学会に参加し、部署に伝達できる	自己研鑽 (当年度、ラダー認定申請者は、土浦協同病院学術集会および、院外の学会・研究会に参加する)						

## レベルV

到達目標 : より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
1	感染症委員会の研修目標参照	感染管理	講義	感染症委員会	所属長による評価 (目標面接で確認)	全職員対象研修 (2回/年) (感染症委員会お知らせ参照)		
2	コーチングを学び人材育成に活かすことができる	臨床コーチング入門編	講義	師長・主任・主幹会	所属長による評価	8月26日		
3	「院外との連携を目的とした看護実践について」「特殊領域における看護実践について」看護計画に基づき、または展開できた1事例から、看護実践能力の自己評価ができる	看護実践能力の自己評価		「看護実践能力の自己評価」 専用用紙にまとめる (手引き参照)	「看護実践能力の自己評価」 (所属長の評価を得て提出)	2023年2月 教育委員会へ	/	
4	臨床における倫理的問題に対し他職種と協働し対処していくことができる	看護倫理	講義	師長・主任・主幹会	所属長による評価	11月16日	①	①
到達目標 : 所属を超え看護部や病院から求められる役割を遂行できる								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
5	リーダーシップを理論で学び、自部署での役割を理解する	リーダーシップ	講義	土浦協同病院 公開講座	所属長による評価 (目標面接で確認)	7月8日	①	①
6	SWOT分析し、組織分析、問題点を明確化することができる	看護管理 SWOT分析	講義	土浦協同病院 公開講座	所属長による評価 (目標面接で確認)	6月30日	①	①
7	評価方法やBSCを理解できる	評価方法	講義					
8	実践計画を作成出来る 計画に基づき、取り組み、成果を得た後に実践報告書を作成し報告をすることができる ※管理的視点を持った部署内のプログラムで進める。	実践計画書 (指定書式)	自己学習 と計画	「看護実践能力の自己評価」専用用紙にまとめる (手引き参照)	所属長による計画書の確認			/
		実践報告書	自己学習と活動および報告書作成		所属長による実践報告書の確認			
9		実践報告会	発表		所属長による発表内容の確認	成果発表 2023年3月	①	①
10	医療安全管理体制を理解することができる	安全管理	講義	医療安全委員会	所属長による評価	全職員対象研修 (2回/年) (医療安全委員会お知らせ参照)		
11	なめがた地域医療センター職員としての職業倫理を高める	コンプライアンス	講義	所属長		全職員対象研修 (1回/月)		
到達目標 : 単独で専門的領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり研								
研修番号	研修目標	タイトル	研修方式	講師	評価	日付	時間	場所
12	キャリアを理解することができる 自己の目標に基づいた学習や活動に取り組むことができる	キャリアデザインとキャリア開発	講義	ナーシングスキル	所属長による評価	1月中旬 に聴講シテストを実施 (満点がとれるまで)	①	①
13	現状を理解し、指導方法を振り返る機会を持つことで、今後の指導のあり方を再認識することができる	現代の看護学生の特徴、カリキュラムの内容	講義	附属看護学校 公開講座	所属長による評価	7月27日	②	①
14	興味を持って学会に参加し、部署に伝達	(高萩協同病院学術集会および、院外の学会・研究会は積極的に参加する)						